

## 令和3年度 第2回蒲郡市都市計画審議会

### 1 日時

令和4年1月27日（木）午前10時から

### 2 場所

蒲郡市役所 新館6階 第2委員会室およびWEB

### 3 出席委員数

14名

### 4 審議会の結果

議題1 開発許可基準に係る区域の申し出については、原案のとおり異存ありませんでした

議題2 東三河都市計画道路及び関連する都市計画の変更のうち、愛知県が決定する東三河都市計画道路及び東三河都市計画区域区分については、原案のとおり異存ありませんでした。

また、蒲郡市が決定する東三河都市計画道路、東三河都市計画用途地域及び東三河都市計画防火地域及び準防火地域については、原案のとおり議決しました。

### 5 議事案件

番号	議 題
1	開発許可基準に係る区域の申出について
2	東三河都市計画道路及び関連する都市計画の変更について

### 6 質疑概要

#### ○議題

(1) 開発許可基準に係る区域の申出について

質疑なし

(2) 東三河都市計画道路及び関連する都市計画の変更について

問1 柏原神ノ郷線について、神ノ郷線との交差点部分で隅切りを廃止す

るとの説明があったが、この部分の周辺地域は市街化調整区域ということもあり、建物の立ち並び状況等から隅切りを廃止しても支障がない箇所、ということか。

答 1 都市計画道路としての交差点ではなくなるため、都市計画道路としての隅切りを廃止する、ということ。なお、現地には市道が存在しており、必要な交通安全対策は実施することになると考えている。

意見 高齢化社会の進行や街なか以外にも家が建ってきているという現状、道路は子供たちの通学路になっているという状況も踏まえて、都市計画道路の廃止と合わせて交通安全についても考えていただきたい。

## ○報告事項

### (1) 蒲郡市都市計画マスタープランの改定について

問 1 マスタープラン策定を進めていく中で市民の意見を聴く機会を設ける、という説明があったが、時期・場所・対象者等について決まっているのであれば伺いたい。

答 1 現段階で確定しているものは、パブリックコメントの手続き。それ以外の方法は、今後検討予定。

意見 市民からの意見は計画を策定する上で大変参考になるもの。本審議会にも報告してほしい。

意見 ハウスミカンと温室ミカンだが、農業委員会の理事会として温室ミカンで表現を統一している。都市計画マスタープランでもそれにあわせていただけるとありがたい。

意見 蒲郡市の人口減少を止めたい、可能であれば8万～10万人程度の都市になるとよいと考えている。そのためには、子供がたくさん生まれることが重要で、子供を増やすには子育て世帯に住んでもらうことが大事。そのためには若い世代の生活が豊かである必要がある。観光ではなく日常生活が豊かに、ということ。子供が済みやすいとあらゆる世代が済みやすいまちになると思う。そのよい例が、住民との対話を経て最近作られた公園。とても人気があり、日常で子供を遊ばせる場所としてとても便利。都市計画マスタープランを作る際にも、いろ

いろな人の意見を聞いて、多くの人が住みやすいまちになるように作ってほしい。

意見 基本的な課題と対応・配慮事項とのつながりについて、もう少しわかりやすいほうが良い。例えばサーキュラーシティー・SDGs等に対応する課題が見えにくいように感じる。また、課題として記載しているもののうち、取り組みや施策の方向性を表すような記載内容になっているものもある。都市計画マスタープランの方針等を検討するのに合わせて、課題を整理したほうがよい。

問2 蒲郡駅北の開発についての進捗について伺いたい。既存ビル入居者と立ち退き等の話はついているのか。

答2 民間事業者によるマンションの建築計画が進んでいる。優良建築物等整備事業として市が補助金を出す制度を活用したもの。予定地には既存のビルが建っており、令和4年度から解体に取り掛かり、令和7年度完成予定と聞いている。あくまで民間事業のため、立ち退き等の話は把握できていない。

意見 蒲郡駅南の竹島水族館や竹島パーク周辺の開発も早期に着手してほしい。

意見 計画策定においては、アンケート調査だけではなく、市民が参加した状態での策定が重要だと感じている。その際、関連事業者の意見を聞く場面も作っていただきたい。エリア別での市民参加もあると思うが、そういう場合には各地域における人口分布・課題等が示されるほうが良いと考える。

意見 観光について、これまでは観光客に対するサービスについて産業界で議論されていた。しかし、公民連携を進める流れの中で、国は地方自治体に土地の使い方や、どのような新しい展開をつくるのか、といったことを求めてきている。そのプランを取り込んだ民間事業に補助を出すという話もあり、まちづくりのプランをうまく取り込んでいかないと産業界は成り立たないという時代にシフトが始まっている。そういった中で、現在、西浦地区でモデル的に議論しようとしていると

聞いている。温泉旅館だけではなく、周辺地域の事業者が多く参加している動きとのことで、まちづくりとそのような産業界の計画がリンクする時代になっているように感じている。まちづくりをすべて行政が行うのではなく、民間事業の動きを行政がインフラ整備等でバックアップしていける環境が整うよう、都市計画マスタープランも審議していただけるとありがたい。このような民間でのさまざまな動きが活発化しているので、そういった動きも含めて計画を考えていただいたほうがよいと思う。

以上